

夕刊

行發日九十二月一十
刊日九十二月一十
刊日九十二月一十

犯罪捜査の實驗上より 觀て現場の保全と民衆の協力を望む

平塚警察局長 小田部 秀雄

之れを語れば掛合となり事は勿論でありまして、眞眼損をするとか、或は後の志家の寄附を以て充てんとたゞりが恐しいとか云ふ様にして居るのではありません。此の點に關しまして有志

警新歌壇

小山田 滋選

○ひとしきり夜更けて鳴ける松虫の命おはるらしにすべしなむわれは
○鳴かすなりてこゝろいたむ今日ひと日傾を
○眼を忘れてあしかな
○山王台 湖 人
○限りなく青き空より降りそよぐ、秋の光のゆたかなるかな
○磯原 月 露
○病床のわが敬へ子の装へを一目みしと胸せまりきぬ (涙削られた形を見なほすこと)

移居

島田 松子

○痔を病みてあたりし夫はいばらさの歌會に行き急なからむか
○車井戸の板蓋根におつる梅の實か夜ふけて音のするは寂しき
○夕まじわが炊きある厨へにかまきり一つ入りてあゆめる
○遠ざかり降りいでし雨は家裏の柿の青葉に音あらし
○並にさす夢あじさの花すきて細かき露を落しそめたる
○家うらは馬鈴薯ばかり道超えて西瓜畑の花黄に咲けり

併句を募る

越後俳句會

○正しからざる者は大なる罪能はす (ランブラー)
○憎、悪、愛着の念を去りて無私、不逞、公平、冷静に觀察するに非れば人事の眞實を知る事が出来ぬ。一休禪師遺教の消息を吐いて曰く「見る毎に皆そのまゝの姿かな、柳はみどり花は紅」と、取つて箴となすに足るべし

拈華微笑

士儻々の「夜屋」側には免れ、うで書く平町、れぬ、難い哉だ
◇ 幹部に代表の師走は目前にや土俵入りなんか正に天下の偉業
◇ 誰を据えても多

叫喚

プラタナス
關 研治
暗黒は悲劇と殘忍な事實である。
喚聲が旋風にこんがらがつて聞こゆる。
呪咀と憎惡の叫喚が
この暗黒の中で何んと云ふ凄慘な歴史が綴られたか
つゝあることか
嗚、嗚、嗚、嗚、
屍は阿修羅の狂舞に蹂躪され
またしても断末魔の喚聲が聞えて来る。

お蘭陀お蝶

(194) 渡邊 歌作
布 施長 春 齋
「併し此の界限を越え死にかけた病人が治つたのは此の世の最期が立つたの、目が目を開いた芽出度くなつたのを
「馬鹿の世の中、それで持つたもんさね、いや馬鹿で思ひ出したが彼の與平と云ふ老爺、昨夕は大變な騒ぎで笑つた、どうも彼の婆
「お蝶は聞いたか?」
「爺さんは一も二もありやアしねえ、そなた、活神様の祟りは怖えもんだてんで今日晝過ぎに婆さんの葬式を済まして村の衆と一緒になつて来た、婆さんから油断なく其の用意をして置いてくねえ」
「爺さん、さうだ、活神様の祟りは怖えもんだてんで今日晝過ぎに婆さんの葬式を済まして村の衆と一緒になつて来た、婆さんから油断なく其の用意をして置いてくねえ」
「爺さん、さうだ、活神様の祟りは怖えもんだてんで今日晝過ぎに婆さんの葬式を済まして村の衆と一緒になつて来た、婆さんから油断なく其の用意をして置いてくねえ」

社會の今日

所得税俄に高し生ける世の、おちつきであるを許さぬ世かも
宇都宮 研
もう月ののぼりかけたか對岸の、箱がれの声の白いつらなり
鹿野 一彌

時

曙光は暗黒を破り赤々と
太太陽が
水に見失つて居た太陽が
烈々と冲天に燃えと輝く人間の頭上
裸身の人間の頭上ひろく久遠に輝く。(完)

時

曙光は暗黒を破り赤々と
太太陽が
水に見失つて居た太陽が
烈々と冲天に燃えと輝く人間の頭上
裸身の人間の頭上ひろく久遠に輝く。(完)



お蘭陀お蝶

「爺さん、さうだ、活神様の祟りは怖えもんだてんで今日晝過ぎに婆さんの葬式を済まして村の衆と一緒になつて来た、婆さんから油断なく其の用意をして置いてくねえ」

時

曙光は暗黒を破り赤々と
太太陽が
水に見失つて居た太陽が
烈々と冲天に燃えと輝く人間の頭上
裸身の人間の頭上ひろく久遠に輝く。(完)

時

曙光は暗黒を破り赤々と
太太陽が
水に見失つて居た太陽が
烈々と冲天に燃えと輝く人間の頭上
裸身の人間の頭上ひろく久遠に輝く。(完)

時

曙光は暗黒を破り赤々と
太太陽が
水に見失つて居た太陽が
烈々と冲天に燃えと輝く人間の頭上
裸身の人間の頭上ひろく久遠に輝く。(完)

新柄行流シヨール

一、五〇ヨリ 四、五〇ヨリ
二、五〇ヨリ 五、五〇ヨリ
九〇ヨリ 四、五〇ヨリ
ヤルツ

月賦建築

御希望者は至急御相談にお出下さい
平町南町一丁目地三三夜會側
寶商事社 伊東

生花教授

池ノ坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたします
平町四丁目和泉屋旅館
須藤

魚榮

毎度御ひいさ
有難う御座います
江戶前都壽し始めました
是非御試食を願
折壽 大蒲 田町 魚榮
電話四二四番

共榮漆器店

御買付品豊富
御立直し徹底
御修理部
御用品部
御用意部
御入荷部
御入荷部
御入荷部
御入荷部

三河産業博覽會

昭和三十七年十一月三十日
金牌受賞
かまぼこ
折詰仕出し
お惣菜用
吉原場 藤寅
電話一四一四番

吉田眼科病院

大塚の特賣
男女耐久學生靴 五、五〇ヨリ
七、五〇ヨリ 八、五〇ヨリ
同 小供ゴム長靴 四、五〇ヨリ
最新形入荷
各種豊富に
大塚 運動靴部
平町 電話七七番

關彰商店本店

移轉お知らせ
毎々御引立を頂き有難う存じます、併して今回御店には平素の御最良に報ゆる爲に一層の御役立を致すべく營業も種々と改善を加へまして平支店の店舗を従前の筋向ひへに移轉致しました。
何卒當に御利用下さいませ、移轉後失禮な紙上を以ておしらせ奉り御願申上ります。
△移轉披露のためホーンストロブ
本月中 特價金拾圓
日本石油株式會社特約店
ライオン株式会社特約店
水戸線下宿町電話五五番
電話一四一四番

難波醫院

平町南町
電話 五〇二番

前田醫院

院長 前田 清美
本院 電話一四二番

井阪醫院

婦人科
午後住宅診
午後住宅診
午後住宅診
午後住宅診

德望家谷口氏の後に

平料理屋組合長人選難

幹事補充は婦人側から乎?

複雑な空気を孕む来總會

今年も愈々明後日から師走であるやうである... 平町會社各種団体など

平町會社

九月九日開催する議案左の如し... 公用禁止処分、倉庫敷地

低資借入れ陳情

空費で更生は出来ぬと、各派代表は出陣... 道徳の風水害で乾地一帯の各町長

内務省査定官來郡

災害補助地踏査、内務省佐藤技師一行は明後日

満洲行

日本軍の行動は、開戦を容れ... 仙は付つて、日本軍が一度

諸経費を引くと

依十二錢の缺損

買上げの應募少いも道理... 第二回政府買上米価格は昨

小学校職員入賞者

聯合教育品展覽會、審査成績発表

赤井の元舅斬り

感化院に居た男、懲役十五年を求刑

小名濱町會

各地元負連並に之が起債方... 各種地元の協議

青森から薩摩の守

四倉驛で引き降る、東京へ歸る

警中人國記

赤井嶽男記、愈々明紙上より連載

自動車の肢を折る

昨日高久地内で事故、高久村下高久中

小名濱町會

青森から薩摩の守

四倉驛で引き降る、東京へ歸る

警中人國記

赤井嶽男記、愈々明紙上より連載

自動車の肢を折る

昨日高久地内で事故、高久村下高久中

農産品評議會

昨日夜間授賞式、田入、入上遊野

市原醫院

内科、小児科、外科、婦人科、皮膚科

ライオン寫眞館

平町才地小路一茶地、電話三五三五番

耳鼻科専門

平町田町七〇番地、山内醫院

転回りの刹那を

惜しや墜落

新案菓子起重機の前、大中小僧の群

赤井の元舅斬り

感化院に居た男、懲役十五年を求刑

小名濱町會

各地元負連並に之が起債方... 各種地元の協議

青森から薩摩の守

四倉驛で引き降る、東京へ歸る

警中人國記

赤井嶽男記、愈々明紙上より連載

自動車の肢を折る

昨日高久地内で事故、高久村下高久中

農産品評議會

昨日夜間授賞式、田入、入上遊野

小名濱町會

青森から薩摩の守

四倉驛で引き降る、東京へ歸る

警中人國記

赤井嶽男記、愈々明紙上より連載

自動車の肢を折る

昨日高久地内で事故、高久村下高久中

農産品評議會

昨日夜間授賞式、田入、入上遊野

市原醫院

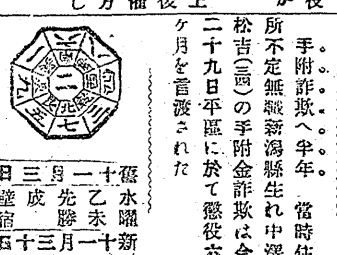
内科、小児科、外科、婦人科、皮膚科

ライオン寫眞館

平町才地小路一茶地、電話三五三五番

耳鼻科専門

平町田町七〇番地、山内醫院



Text adjacent to the seal, likely providing details about the seal or a related organization.